

月刊！大阪でんきレター

仕事に少し関係のあることから、まったく関係のないことまであなたにお届けします



今月のトピック

- ◆ 社長のひと一言
- ◆ 土曜日の営業・休業案内
- ◆ あなたの脳は男性的？それとも女性的？
- ◆ 私は〇〇恐怖症！



社長のひと一言

当社の営業社員は各自が持つ人間力で皆様に「共感」いただきご指名いただいております。大阪でんきへの「共感」、本日もありがとうございます。

大ヒットは望めないなら、「共感」してくれたヒトを多く獲得し購買につなげてもらう。その商品で生まれてきた背景や開発者のストーリーを大事にアピールし購買につなげてもらう。昔からあった手法ですが、やはり大事なことと感じます。

2019年はすでに折り返し、7月20日を基準とするとあと165日です。今年「共感」をテーマとした、モノ・コト・ヒトを大事にしている感覚が個人的にあります。

2018年に大ヒットした映画「ボヘミアン・ラブソティイ」はクイーンのカバー、マイケル・ジャクソン氏にスポットをあてた自伝です。音楽が趣味の私は当然見に行き、その上映中、様々なシーンで「共感」して、何度も涙しました。店主が共感した部分は私のそれとは違うかもしれませんが、ここに「共感」を体現している人物がいました。しかも、同年代に、すぐ近くに。やはり、この店を好きでよかった。これからも頑張りたいと思います。

*店主と私は年齢が同じです。

店主…「お客さんがどう思ってくれるかも大事だけど、自分がどうありたいかを今回は大事にしました。やれること全部やってみよう」と

私…「お店のBGMが、クイーンなものもそのせい？」

店主…「フレディ・マーキュリーの生き方に共感して」

私…「いいんじゃないですか？」

店主…「突き抜けてみようかと思って」

皆さんもよくご存じかと思いますが、飲食店が味を変えるのは大きな賭けです。その味が好きで通っている常連さんが行かなくなるリスクがあるからです。また、新味についてはそれを「おいしい」というお客さんは前者の常連さんと比べて多くなるかと言われると…。

私はラーメンが好きです。開店した時から通っているラーメン屋さんがありません。その店主が最近、看板メニューの味を変えました。

「新作メニューとボヘミアン・ラブソティイ」



としたりょう
山本 利太郎

土曜日の営業・休業案内

7/27 (土)・・・**完全休業** (第4土曜日は休み)
 8/3 (土)・・・**AMお引き取りのみ**
 8/10 (土)・・・**完全休業** (お盆休み)
 8/17 (土)・・・**通常営業** (第3土曜日)
 8/24 (土)・・・**完全休業** (第4土曜日は休み)

大阪電機商事(株) 金沢支店の
夏季休業

8/10 (土)～
8/16 (金)

*8/17 (土)は営業します。

あなたの脳は男性的？それとも女性的？

「マジか・・・」。この本を読みながら何度こうつぶやいたことか。

あなたも異性と食い違ったり、すれ違ったりしたことがあると思います。その根本的な原因は、「男と女はちがう」という単純な事実に至る、ということです。やっぱり違うんですね、男と女は。

そういえば最近、社内で受けた研修でも「まず相手と自分は違うことを知ることが大事」と講師の先生が言ったのを思い出しました。

なぜ男と女は違うのか？それははるか昔、それぞれの役割に合わせて進化してきたからなのです。男は狩りをして、女は木の実や果実を採った。男は守り、女は育てた。それを続けた結果、両者の身体と脳は、まったく別物になった(P16)。まったく別物なんですね・・・(驚)

本書の中に、「男脳・女脳テスト」という30個の質問答えるテストがある。私は点数がマイナスになるというガチガチの男脳でした・・・。興味がある方は「男脳・女脳テスト送って」と原までメール下さい☆

今年、70歳を迎える母にも読んでもらいましたが、「何を今さらこんなわかりきったこと」的な、人生を達観したお言葉が・・・。すいません、私、まだまだ勉強不足なもので。

とても分かりやすく読みやすい本なので是非読んでみてください。(男の浮気は絶対にバレるといことがわかります(笑))



原 良



アラン・ピーズ+バーバラ・ピーズ著

『話を聞かない男、地図が読めない女』

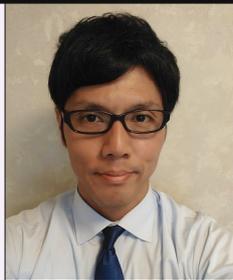
日本で200万部、全世界で600万部のベストセラー。この本は男女の考え方や行動の違いは、脳が使われていたり反応する場所や、分泌されるホルモンの違いによって引き起こされる、ということを知った本です。

私は〇〇恐怖症！



新田 陽一

言わずと知れた高い所。立山の登りは大丈夫でも、下りは・・・普通の人はいい景色！と言うんでしょうね



福井 健太郎

ナス恐怖症、昔はサラダ類がほとんど食べられませんでした。大人になるにつれてほとんど食べられるようになりました。ただナスだけは、未だに食べられません(見た目、食感)？



原 良

「食べ物を残したらいけない恐怖症」。昔から食べ物は残すなとつけられた私は、食べ物を残すことに異常に恐怖を感じる。私が居酒屋で発注担当になると、テーブルには少しの料理しかならない。



吉田 英喜

休日に子供(長男)と二人になるのが怖い。ゲームセンターに連れて行かれ散財させられる。



北村 真斗

かえる恐怖症です。とにかく無理です。嫌いとか苦手ではなく無理です。生まれてから今の今まで無理なのでおそらく前世でなにかあったのでしょうか。

「月刊！大阪でんきレター」のご意見・ご感想を頂けると励みになります。

大阪電機商事(株) 金沢支店

金沢市示野中町2丁目100番地

TEL (076) 223-3541 FAX (076) 223-3932

hara@osakadenki.co.jp (担当：原)

